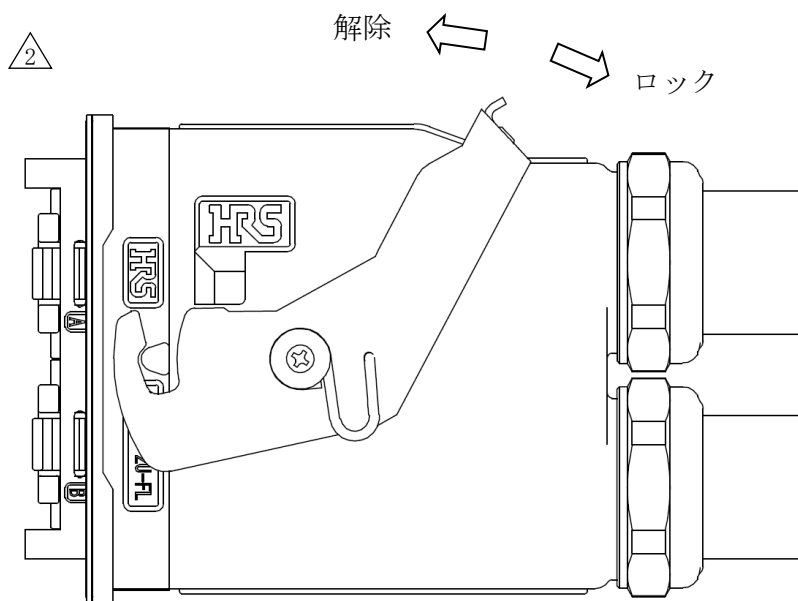


適用規格					
定 格	使用温度範囲	注1. -55℃～105℃	保存温度範囲	注2. -55℃～85℃	
	電 圧	AC 600V, DC 600V(コネクタのみ) AC 300V, DC 300V(TUV・UL時)	使用湿度範囲	－％～－％	
	電 流	PQ50* - 15*CFA 19.0A /ピソ (AWG#14結線時) PQ50S* - 1618*CFA 12.5A /ピソ (AWG#16結線時) PQ50S* - 1822*CFA 12.5A /ピソ (AWG#18結線時)	適合ケーブル	・ PQ50WA/S-10*/34*-UNIT AWG#14～AWG#22 (10芯のみ) (UL-STYLE:UL1007,UL1015) ・ その他 AWG#16～AWG#28 (UL-STYLE:UL1007)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造及び 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的 性能	接触抵抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	注3. 5mΩ 以下 (端子間)	○	－
			注3. 50mΩ 以下 (シェル間)	○	－
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	5000MΩ以上	○	－
	耐電圧	AC 3310Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	－
機 械 的 性 能	温度上昇	下記端子・ケーブル1芯に規定の電流を 通電する。 PQ50* - 15*CFA (AWG#14 UL1015結線時) : 19A/ピソ PQ50S*-1822*CFA (AWG#18 UL1007結線時) : 12.5A/ピソ	周囲温度からの上昇値が30℃以下 のこと。	○	－
	コネクタ単体挿抜力	下記適合端子で測定する。 PQ50* - 15*CFA PQ50S*-1822*CFA	PQ50* - 15*CFA 挿入力 3N 以下、抜去力 1.0N 以上 PQ50S*-1822*CFA 挿入力 3N 以下、抜去力 0.3N 以上	○	－
	コネクタ 総合挿抜力	適合 コネクタで測定する。 ロックバ-解除状態にて測定する。 PQ50WA/S-10*/34*-UNIT×1ユニット PQ50WASX-46*-UNIT ×1ユニット 計2ユニット組込み (全端子結線時)	挿入力 270N 以下、抜去力 34N 以上	○	－
	端子固定力 (ランス固定強度)	ケーブル軸方向に25mm/minの速度で引張り 端子が抜けた時の荷重値を測定する。 ①PQ50* - 15*CFA (AWG#14 UL1015結線時) ②PQ50S*-1822*CFA (AWG#18 UL1007結線時)	① 68.6N 以上 ② 29.4N 以上	○	－
	導体圧着部強度	下記端子・ケーブルごとで導体部のみ圧着結線 し、引っ張り力を加えた時、保持力は規格値以上 のこと。 PQ50* - 15*CFA (AWG#14 UL1015結線) PQ50S* -1618*CFA (AWG#16 UL1007結線) PQ50S* -1822*CFA (AWG#18 UL1007結線) PQ50S* -2428*CFA (AWG#24 UL1007結線)	PQ50* - 15*CFA (AWG#14 UL1015結線) : 222.6N 以上 PQ50S*-1622*CFA (AWG#16 UL1007結線) : 133.5N 以上 PQ50S*-1822*CFA (AWG#18 UL1007結線) : 89.0N 以上 PQ50S*-2428*CFA (AWG#24 UL1007結線) : 22.3N 以上	○	－
	ロック強度	レバーをレセプタクル側にロックした 状態で、かん合軸方向に98N(1分間)プラグ側に 引抜力を加える。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	－
注1. ①動作の保証できる範囲は人の活動できる温度としています。 ②使用温度範囲は通電による温度上昇も含みます。 ③適合ハウジングに結線した状態での値となります。					
			注2. 梱包材は含みません。 注3. ケーブルの導体抵抗は含みません。		
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	2	DIS-E-00004837	HY. MATSUDA	TU. TANIGUCHI	20210325
備考 上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ、PQ50WAシリーズでの性能を示す。 その他のシリーズに使用する場合の性能については各シリーズでの性能とする。 試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を 適用している。			承 認	RI. TAKAYASU	20160531
			検 図	NM. NISHIMATSU	20160531
			担 当	WR. YAMADA	20160531
			製 図	WR. YAMADA	20160531
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-129288-00-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	PQ50WA-2UA-PC2	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0236-2098-0-00	△ 1/3

性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
機械的 性能	レバー操作力	レセプタクル側にレバーをロックする方向に力を加えた際のロック力。 及びレバーを解除する方向に力を加えた際のレバー解除力。	レバーロック力 : 205.8N MAX. △ レバーロック解除力 : 205.8N MAX.	○	—
	ケーブルクランプ力	ケーブルをクランプした状態でかん合軸方向に、98N(1分間) ケーブルに引抜力を加える。	①端子が保持されていること。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	繰返し動作	100 回の抜き差しを行う。	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 方向各 2 時間試験する。(付図2参照)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 6 軸方向各 3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環境 性能	温度サイクル	温度 -55 → 15~35 → 105 → 15~35 °C 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5 サイクル試験する。	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 105 °C±2°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55°C±3°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐湿性	温度 60 °C±2°C, 湿度 90 ~ 95 %中に 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 (乾燥後) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	混合ガス	SO ₂ 10 ppm, H ₂ S 3 ppm, 湿度 70 ~ 80 % 中に 24 時間放置する。(かん合放置)	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	防塵・防適性	コネクタをかん合させ、直径1.0mmの検査用プローブが進入しないこと。また、機器に対しいかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないこと。	IP65 以上	○	—

付 図

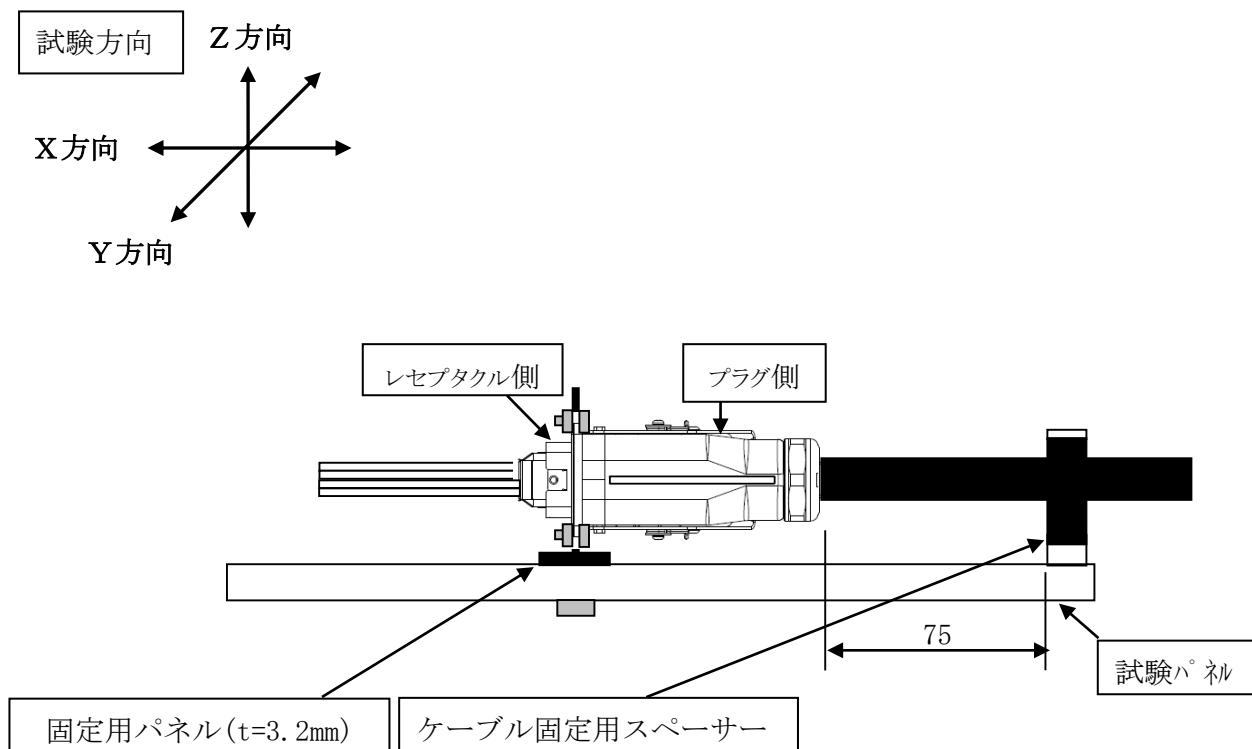
付図1. レバー操作力



注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-129288-00-00		
HRS	製品規格表		製品名		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		
			CL0236-2098-0-00	△	2/3

付 図

付図 2. 振動試験方法概略図（側面）



注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目		図番	SLC-129288-00-00		
HRS	製品規格表	製品名	PQ50WA-2UA-PC2		
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL0236-2098-0-00	△	3/3